

## ブラジルの金融市場動向 Weekly Report

2017年4月17日

### 【2017年4月10日～2017年4月14日までの推移】

#### 【1】先週の回顧

先週のレアルは対ドルではほぼ変わらず、対円では下落しました。

北朝鮮やシリア情勢を巡り地政学リスクが高まる中、市場では安全資産の円を求める動きが強まり円高が進展しました。

債券市場に関しては、年限によりまちまちの動きとなりました。

ブラジル中央銀行は、インフレ率が中央銀行のインフレ目標の範囲内に収まり、物価の沈静が顕著になってきたことから、景気回復を促す大幅な利下げを決定しました。今後も利下げが見込まれることから短期金利は低下圧力が掛かりました。一方で、長期金利は年金改革法案の行方や汚職事件を懸念し、警戒感から上昇しました。

#### 【2】今週の見通し

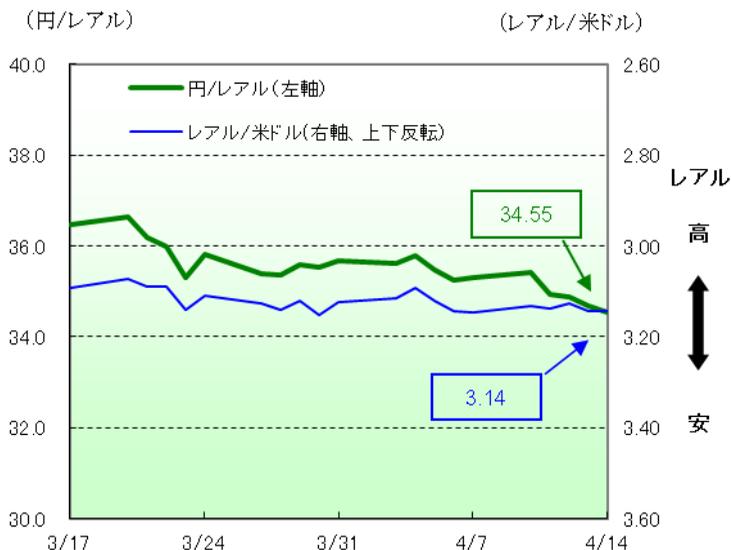
今週は、インフレ率などの経済指標の発表があります。インフレ率が市場予想を超えて下振れた場合、金利は低下することが見込まれます。

一方で、地政学リスクの高まりや国内の政治問題は、ブラジル金融市場に下落圧力を掛けることが予想されます。

ブラジルの最高裁判所は、テメル政権の閣僚や上下院議員らについて大規模な汚職事件に関わった疑いがあるとして、検察が求めていた捜査開始を認める判断を示しました。連立与党首や上下院議長ら有力政治家が多数含まれていることから政治の混乱には注意が必要です。

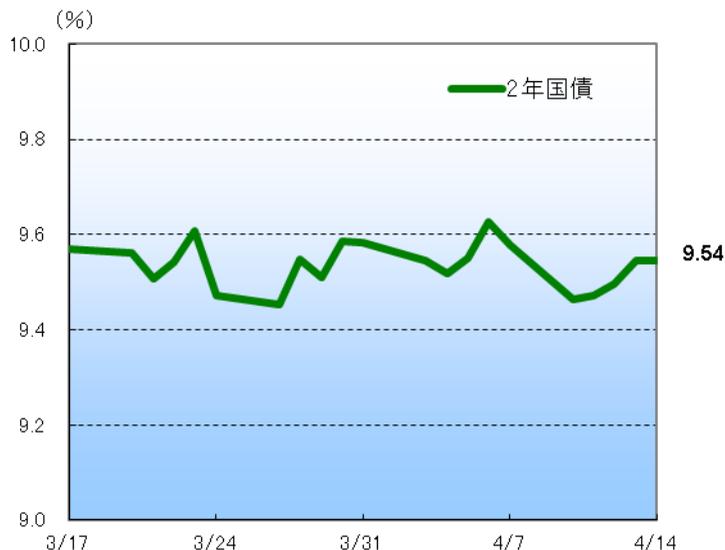
引き続き、年金改革を含む構造改革が注目されています。公的年金支給年齢の引き上げなどの緊縮策には労働組合をはじめ各方面から反発がみえますが、テメル政権が財政健全化を着々と進める場合には、海外投資家の信認改善に寄与するとみられ、構造改革期待を背景としたブラジルへの投資活発化を通じてブラジル・レアルを下支えすることが期待されます。

#### 【ブラジル・レアル 為替推移】(2017年3月17日～2017年4月14日)



※四捨五入の関係で数値とグラフの目盛りが一致しない場合があります。

#### 【ブラジル 金利推移】(2017年3月17日～2017年4月14日)



(出所:ブルームバーグより大和投資信託作成)

#### 当資料のお取り扱いにおけるご注意

- 当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものであり、勧誘を目的としたものではありません。
  - 当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。
  - 当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は当資料作成時点のものであり、将来の成果を示唆・保証するものではなく、また今後予告なく変更されることがあります。
  - 当資料中における運用実績等は、過去の実績および結果を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。
- 販売会社等についてのお問い合わせ⇒大和投資信託 フリーダイヤル 0120-106212(営業日の9:00～17:00) HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>